

未来のために考えようごみのこと」

高根沢会場（6月6日）

苦しみ喜びを分かち合う

宇都宮大学国際学部教授北島滋先生の循環型ゴミニティづくりのお話では、ごみ問題に必要なのは「お互いが助け合い、そして苦しみ喜びを分かち合える社会づくりが必要です。」皆さん真剣に聞き入っていました。



喜連川会場（6月13日）

自分たちのごみは最後まで責任を

宇都宮大学工学部教授今泉繁良先生の基調講演では「自分たちの出したごみは最後まで責任を持つという観点から、ごみ減量から処理施設までを、いろんな意見を聞き、バランス的なものを考え、地域の発展と関連付けて考える必要がある。」とのお話を伺うことができました。



塩谷会場（6月20日）

意識を変えよう

宇都宮大学農学部教授酒井豊三郎先生から「全部資源に出来る。そういう意識を持ちましょう。再利用する、再生すると言っても、自身の意識を変えなかったら、ダメです。」会場参加者の皆さん納得していました。

